

教員研修

社会が急激に変化する中、これからの社会で活躍する子どもを育て、学校現場でのさまざまな課題に対応できる力を身に付けるため、学校の先生には、主体的に「学び続ける人」であることが求められています。

福井県では、先生に求められる具体的な力を「福井県教員育成指標」に示し、採用のときからおよそ10年ごとに「基礎固めの第1ステージ」、「ミドルリーダーとしての第2ステージ」、そして「経験を活かして組織運営をする第3ステージ」と設定し、ステージに合わせた内容の研修を行っています。

具体的には、内定者事前研修（採用前）、初任者研修（採用1年目）、さらに2年目研修、3年目研修、中堅教諭等資質向上研修（採用10年目ごろ）などがあります。管理職の先生を対象とする管理職研修や、30代、40代、50代の異なる世代の先生が交流する「クロスセッション」という研修もあります。もちろん、「授業づくり」、「学級づくり」、「保護者との関係づくり」など教職に関係するものが中心ですが、「主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上」や「ICTを活用した授業づくり」など、新しい教育課題に対応する内容もあります。

これまでは、先生方が勤務する学校を離れて研修会場に集まる「集合型」での研修しかありませんでしたが、今は受講する先生方の負担軽減を考え、同時双方向や配信による「オンライン型」、参加する先生が集合型とオンライン型を選択できる「ハイブリッド型」など、さまざまな形で研修を実施しています。

このように、福井県には、学び続ける先生方を応援する充実した研修が整っています。